

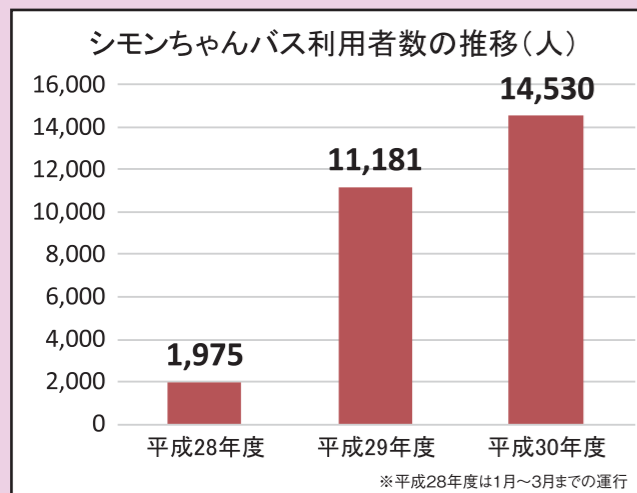
タクシー料金助成事業を拡充しました



市では、交通弱者の移動手段の拡充について、デマンド型乗合タクシーの導入や現行の福祉タクシー料金助成事業の拡充などを検討した結果、現行の事業の拡充を図ることとしました。

- 助成対象者の要件を緩和
  - ・満75歳以上の方で自動車の運転免許証を保有していない方
  - ・満65歳以上の方で自動車の運転免許証を自主返納した方
- 助成券の交付枚数を増加
  - ・12枚→24枚（年間）
- 助成券の使用制限を緩和
  - ・タクシー1回の利用につき1枚の使用としていた助成券を、最大2枚まで使用できるようになりました。

千代川地区や豊加美地区方面について、近隣自治体との連携も視野に入れながら、バスの調査検討を進めるとともに、高齢者の移動はタクシー料金助成券の拡充により、市内全域を対応していきます。その他、より良い公共交通施策について、さらに調査研究し公共交通網の充実を進めていきます。



利用者増加中  
シモンちゃんバス

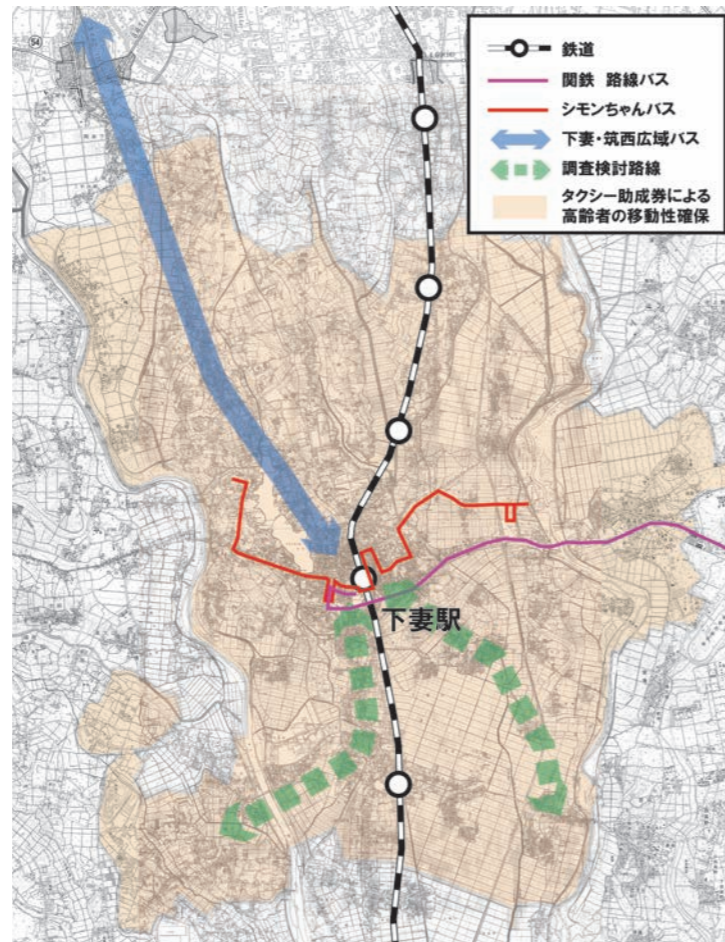


平成29年1月の運行開始以降、運行ルートやダイヤ、運賃の改正の他、ICカード対応の整備を図ってきました。平成30年度からは学生の乗車も増えており、高齢者割引証の発行も増えてきておりますので、徐々に地域の足として認知され、利用されてきています。

シモンちゃんバスの実証運行事業は、国庫補助事業を活用して、車両をリースしていることから、運行ルートや時刻を変更しながら、5年程度実施していきます。

企画課 ☎43-2113 FAX 43-1960

今後の公共交通整備イメージ図



特集1

これからも公共交通を充実していきます



下妻市の主な公共交通は現在、「関東鉄道常総線」と「路線バス2路線」が民間で運行されている他、中心市街地を通るコミュニティバス「シモンちゃんバス」を運行しています。

その他、市では障害者福祉タクシー料金助成事業と高齢者福祉タクシー料金助成事業により、外出する際のタクシー料金の一部を助成しています。

今回は、市の公共交通の充実に向けた取り組みや今後の方向性についてお知らせします。

郊外の公共交通の方向性

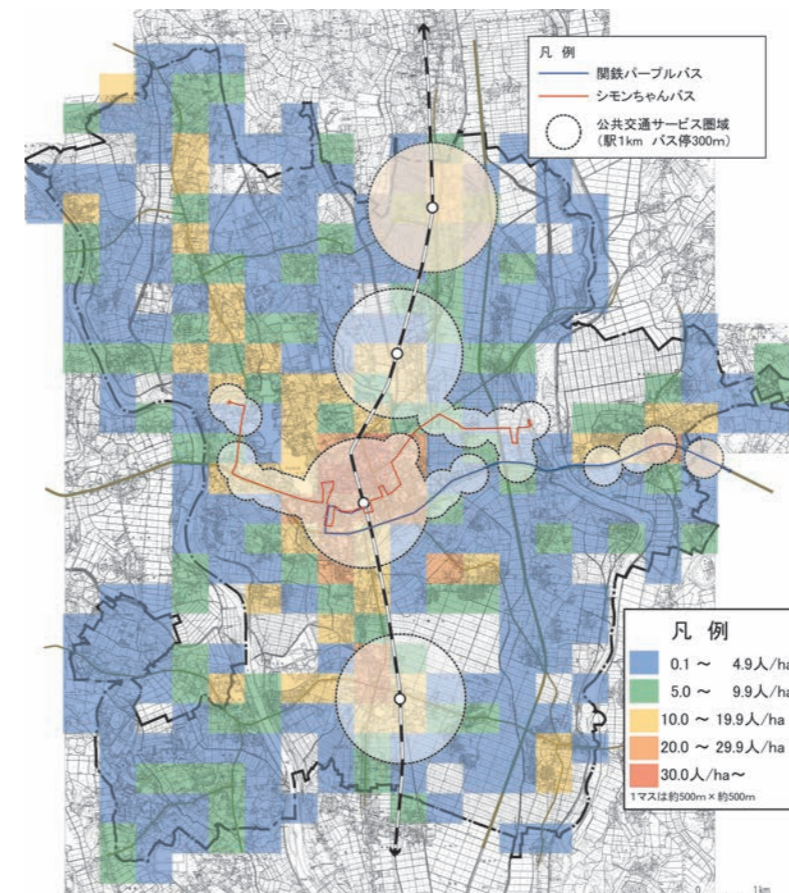
市ではコミュニティバスの実績を踏まえながら、市民、行政、交通事業者から組織される下妻市地域公共交通活性化協議会などで郊外の公共交通について検討を重ね、一定の方向性を決定しました。

これまでの会議や、シモンちゃんバスに関するアンケートで出された主な意見

- 郊外の居住者の移動手段を確保すべきである
- 他の地域にもシモンちゃんバスのようなバスの導入が望まれる
- ターゲットを明確にし、無駄にならないような方法が必要である

現在の公共交通サービス圏域図

※駅・バス停の円の外側が公共交通空白地帯となり、人口分布の色分けから、公共交通の利用見込みが推定されます。



上妻地区で広域連携バスのニーズ調査をします



公共交通の空白地帯全てにバスを回すことは難しいため、市では人口が集中している地域を対象に定時定路線型のバスネットワークの充実を図っていきます。

公共交通網を形成するにあたり、国の補助制度の活用や他市町村との共同運行により費用負担が軽減されるため、今年度は筑西市と共に上妻地区を通るルートの広域連携バスのニーズ調査を実施していきます。今後はその他の地域についても検討を進めていきます。

鉄道や路線バスが運行されている地域を含めて、自動車から公共交通機関への利用を促すモビリティマネジメントを推進していきます。